

【小学校・中学校・義務教育学校用】
令和2年度学校評価結果

学校名 佐賀市立高木瀬小学校

達成度(評価)
A: 十分にできている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・13項目のうち、A評価は4項目、B評価は8項目、C評価は1項目という結果となった。
・学校目標の達成に向けて、全職員の知恵を結集し、手立てを更新し、さらに高みを目指していきたい。一番の課題は、超勤時間の削減である。早く帰ろうという意識はあるが、実際に業務が終わらない。丁寧にしようすると超勤が増える。これまで以上に計画的に業務を行うことや見直しが必要だ。

2 学校教育目標 えがお かがやく 高小の子供
～「時を守り 場を清め 礼を正す」～

3 本年度の重点目標
「郷土愛の育成」「ほめほめ活動の推進」「時を守り 場を清め 礼を正す」の徹底が本校の特色である。これらの特色をより強固にしなが、ますます「えがお かがやく 高小の子供」を育てる。
○「時を守る」・・・「時間を守る」 ○「場を清める」・・・「整理整頓をし、清潔にする」 ○「礼を正す」・・・「相手を尊重し、礼儀正しくする」 ○「時・場・礼」の基盤・・・「早寝早起き朝ごはん」「高小流あいさつ」

4 重点取組内容・成果指標

(1)本年度重点的に取り組む独自評価項目(本校の特色)
Table with columns: 評価項目, 取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者

(2)共通評価項目(重点4項目)

Table with columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望
・中間評価では、14項目のうちA評価は6項目、B評価は8項目であったが、最終評価では、A評価は8項目となり、2項目が高評価となった。中間評価での取組反省を生かして、現状を変えようとする教職員の意識化と具体的な改善(強化)策が図られたためと考える。提案する部会単独での努力ではなく、チームとして全職員が取り組むことの大切さを実感できた。
・本校の特色である「無言・無音排除」「高小流あいさつ」は、良い伝統・習慣として定着している。また、国語科の校内研究として1年目であったが、教材研究に熱心な教職員が多く、学び部提案を基にした授業作りを積極的に取り組んだことで、児童の学力向上に大きな成果を得ることができた。
・学校生活ではある程度達成できている「自主学習」「履物をそろえが」、家庭生活ではなかなか実践できていない。また、相手を尊重した「さん付け」は、児童・保護者とも評価が低い傾向にあった。学校での取組内容について、より多くより詳しく保護者に対して情報発信を行い、理解と協力を得ることが必要である。今後は「いつでもどこでも・だれにでも」をキーワードとして位置づけ、学校・地域・保護者が取組を共有できる体制を強化していきたい。